

センターだより

第 7 号

平成 29 (2017) 年 1 月 28 日発行
吹田市立教育センター
大阪府吹田市出口町 2 - 1

TEL 06-6388-1455
FAX 06-6337-5412
メール s-educ@suita.ed.jp

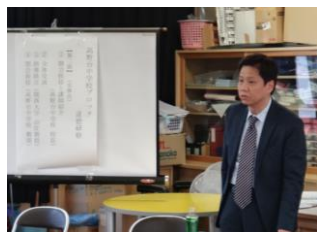
繋ぐ→支える→発信・リードする教育センター

吹田市教育委員会 委嘱研究学校の取組紹介

委嘱研究学校 吹田市立高野台中学校 『道徳の授業をととした言語活動の充実～生徒の自己肯定感育成のために～』

高野台中学校の授業研究に学ぶ 10月27日(金)

タイトルにもあるように、高野台中学校は自己肯定感の育成のために、「道徳の授業をととした言語活動の充実」に取り組んでいます。取材当日は、2年生3クラスの「道徳」の授業研究でした。教材名は「本当のやさしさとは」(吹田市教育委員会発行『いきいき』より)。高野台中学校が2年間取り組んできた委嘱研究の集大成でもある研究授業でした。この授業のねらいは、「相手の気持ちに寄り添ってどのような行動をとることが思いやりに繋がるのかを考える」ことで、全体討議を用いて多角的な意見や考え方の共有を目指しました。全体討議については学校全体で取り組んでおり、司会など進行役がいなくても生徒たちは進んで意見を伝え合う姿がとても印象的でした。



研究協議では、『「考え、議論する道徳」の授業構成・発問等は適切であったか』というテーマで進められ、参観した先生方の活発な意見交流が見られました。

講師の山住先生(関西大学教授)は、今回の授業への助言とあわせて、道徳の教科化に向けて、“主体的・対話的で深い学び”といったことについても話されました。「道徳の授業の生命線は「発問」にあり」として、原因・理由を問う発問、心情を問う発問、判断を問う発問、未来(どうしていくのか、意欲)を問う発問の4つに分類し、授業のねらいに沿った発問を考えていくことが大事と話されていました。間近にせまった道徳の教科化に向けても、とても学びの深い授業研究となりました。

委嘱研究学校 吹田市立高野台小学校 『互いに尊重し合い、主体的によりよく生きる子』

高野台小学校の授業研究に学ぶ 10月30日(月)

本年度より委嘱研究学校となった高野台小学校は「互いに尊重し合い、主体的によりよく生きる子」を研究テーマに、道徳科の研究を進めています。当日は、中西 亮教諭が、偉人とされる野口英世の医学の道で努力する姿をととして、願いや目標をもつことの大切さについて理解を深めることをねらいとする授業でした。



高野台小学校では、授業における「教材の精選と提示の工夫」「導入の工夫」「発問の工夫」「板書の工夫」の研究に重点をおいています。児童の状態について集団と個別の傾向測定を実施することで課題を明確にし、児童の道徳的価値の理解についての変容を引き出すための授業づくりを進めています。

講師の大阪教育大学の金光靖樹教授は、授業の工夫について助言されるとともに、道徳科の評価についても話されました。

「なぜ、評価することが定められたのか。それは、児童をほめるための道徳の授業づくりが求められているからです。では、何をほめるのか。児童の価値の理解の変容です。たてまえを崩し本音で語らせる工夫が必要です。」

授業の終末、ある児童から、「目標がないと、努力しなくてもいいかなって思ってしまうかも。」という声を聞くことができました。授業者として児童の本音を引き出し、評価者として児童の心の変容をつかむ。教科化の完全実施を目前に、高野台小学校の研究の報告への期待が膨らむ時間となりました。



平成29年度吹田市立教育センター教育研究報告会の開催について

第1次案内でもお知らせしましたが、吹田市における幼稚園・こども園、小・中学校、教育研究会、委嘱研究学校、教育センターの調査研究グループ等の取組や研究成果を発信します。第2次案内にて、詳細を案内しています。各園2名程度、各校5名程度の参加をお願いします。

日時 平成30年1月24日（水） 14：20～17：00

会場 子育て青少年拠点 夢つながり未来館 ゆいびあ

多目的ホール（第1分科会） 多目的リハーサル室（第2分科会） 多目的会議室（第3分科会）

小学校1年生全巡回について

昨年度より、市内通級担当者と教育センターの発達相談員による、小学校1年生の全巡回を実施しています。通常学級に在籍する児童の様々な課題について、早期発見および適切な対応ができるよう、学校支援を目的とした内容となっています。

今年度は11月をもって、小学校1年生の全巡回が終了しました。今後も特別支援教育コーディネーターを中心に、校内での特別支援教育の推進に努めていただき、児童・生徒への適切な支援をお願いします。

通常の巡回相談については、随時受付をしています。まずは、ご相談ください！

巡回相談を申込むにあたって

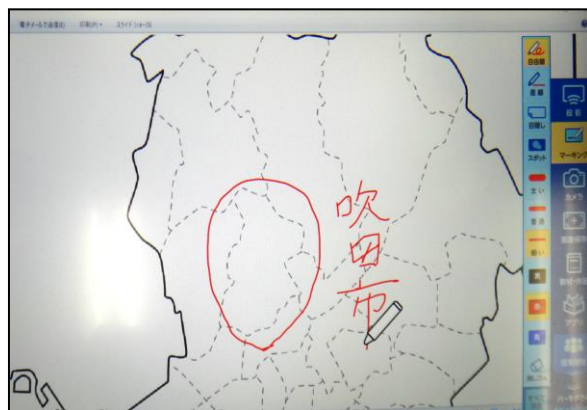
※教育センターの巡回相談は、発達に課題のあると思われる通常学級在籍の児童・生徒を対象としています。個々の児童・生徒支援につながる学校支援が目的となっていますので、よろしくお願いします。



【 情報教育機器の更新に向けて 】

今回は、教職員用PCやコンピュータ教室の児童・生徒用PCとして配備される着脱式ノートPCの電子黒板機能について紹介します。

当該PCには電子黒板機能が搭載されており、画面部分をタッチすれば、教材の一部を拡大できたり、文字や線を自由に描くことができるため、児童・生徒に注目させたい箇所を焦点化できます。そして、カメラ機能を活用すれば、児童・生徒の書いたノートやプリントを撮影し、プロジェクタ等へ投影することで、児童・生徒の意見や考えを短時間で容易に共有することができるため、「主体的・対話的で深い学び」に活用できます。





研修報告



ステップアップ研修Ⅰ「授業づくり3・4」（受講者代表授業）

●11月13日（月） 吹田市立片山中学校 中村 研吾 教諭

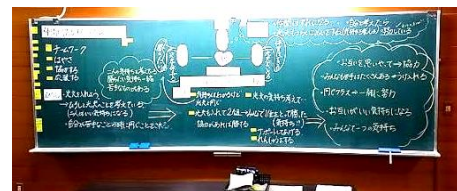
『ロレンゾの友だち』（生きる力 大阪府版）を教材に、葛藤する場面を提示し、生徒から多様な考え方を引き出し、主題に設定した、友情への理解を深めさせることをねらいとした授業を展開されました。道徳の授業における発問を作り上げる難しさを感じつつも、目の前に立つ生徒の今をとらえ、心を語り合うための安心と自信をあたえることに注力されていました。受講者の中から「授業者のねらいが伝わる授業を参観して刺激を受けた。」「意見交流で出た内容を実践にいかしたいと思った。」という声が挙がる充実した時間となりました。



●11月24日（金） 吹田市立佐竹台小学校 石井 恵梨沙 教諭

『同じ仲間だから』（文部科学省 私たちの道徳）協力することの大切さについて理解を深める授業を提案されました。運動で負け続けるクラス全体の勝ちたい想いと運動が苦手だががんばろうとする仲間の想いの間で葛藤する登場人物。自分の心の中のつなひきを言葉に表し伝え合う中で、

協力することの難しさを感じながら、仲間の想いを理解することの大切さをじっくりと考えていました。児童の心の言語化を丁寧な机間指導で支援し、板書によって考えを整理し共有させる工夫が光りました。高野台小学校の中西亮教諭からは、次期学習指導要領の方向性も見据えたこれからの道徳授業のあり方について、示唆に富んだ助言をいただきました。



10年経験者研修 代表研究授業

●10月24日（火）岩本 あすさ 教諭（古江台小）6年 総合的な学習の時間 「私たちのくらしと働く人々～牛から職業にせまる～」

本時のねらいは、食肉に加工される牛の様子について、写真や資料から詳しく読み取り、命の大切さや牛に携わる人の思いに気づくことでした。

授業者の岩本教諭は、本単元を指導するにあたり、子ども達に「本物」の出会いをさせたいと現地を訪れ、牛と共存してきた人々の思いや仕事に対する誇りや歴史を学び、取材をもとに授業を組立てました。

教材研究はもちろん、教師の熱意や丁寧な準備が子ども達の学びに直結するということを改めて感じた時間でした。



●11月27日（月）

船橋 壮 教諭（第二中） 1年 保健体育 陸上競技 「走り幅跳び」

特別な支援を必要とする生徒を含め、「全員が主体的に学び合う授業づくり」をテーマに、授業者の船橋教諭は、視覚支援やワークシートなど多くの手立てと仕掛けを準備し、学習環境を整えていました。それをもとに、子ども達は班活動をとおして、仲間のアドバイスのもと、全員が主体的に課題改善に向かっていました。

一人ひとりのより深い学びを保障するには、日頃の学習規律を含めた学習環境づくりはもちろん、教師の意図する様々な仕掛けを施した学習環境づくりが効果を発揮することを再確認する時間となりました。



指導助言者の小林校長先生（吹田南小）、酒井教頭先生（青山台中）からは、教科の専門性ととどまらず、よりよい授業づくりの提案や求められている教師像など、さまざまな視点からお話しいただき、10年目の節目を迎えた受講者にとって貴重な学びの機会となりました。



12月・1月の教職員研修予定



講座名		番号	研修テーマ・講師名・概要等	会 場	日 時	対 象
初任者研修	初任者研修 フレッシュ研修 (新規任用講師)	40	授業づくり7「小中一貫教育について」 —小学校における授業参観と研究協議— 授業者 千里みらい夢学園 桃山台小学校 教諭 和志武 玲子 講師 千里みらい夢学園 学園長 桃山台小学校 校長 西田 智子	桃山台小学校	1月18日(木) 13:45～17:00	幼稚園・中学校 初任者教員 新規任用講師
		38	授業づくり11「小中一貫教育について」 —中学校における授業参観と研究協議— 授業者 千里みらい夢学園 竹見台中学校 指導教諭 藤田 幸(英語科) 講師 千里みらい夢学園 副学園長 竹見台中学校 校長 羽間 博子	竹見台中学校	1月16日(火) 13:30～17:00	小学校初任者教員(火曜班) 新規任用講師
		39	授業づくり11「小中一貫教育について」 —中学校における授業参観と研究協議— 授業者 第五中学校 教諭 夢田 涼太郎(数学科) 講師 千里みらい夢学園 副学園長 千里たけみ小学校 校長 黒谷 聡	第五中学校	1月25日(木) 13:35～17:00	小学校初任者教員(木曜班) 新規任用講師
ヤングリーダー研修		80	「学校改革アクションプランづくり」	教育センター 視聴覚室	1月5日(金) 14:00～17:00	ヤングリーダー研修受講者
教育課題別研修 (10年経験者研修における 吹田市選択研修)		115	「職場でのコミュニケーションについて」 大阪メンタルヘルス総合センター 臨床心理士 高橋 美智子	教育センター 視聴覚室	12月5日(火) 15:45～17:00	教職員 ※ステップアップ研修Ⅱ選択研修を 兼ねる
授業づくり 研修	授業づくり 研修(国語)	142	小学校国語科 授業づくり研修「語るちからをきたえる」 明星大学 客員教授 白石 範孝	北山田小学校	12月4日(月) 14:45～17:00	教職員
	授業づくり 研修(ICT活用)	144	ICT機器を活用した授業づくり研修 筑波大学附属小学校 教諭 夏坂 哲志	佐竹台小学校 (委嘱研究学校)	1月25日(木)	教職員 ※ステップアップ研修Ⅱ選択研修を 兼ねる
	スクール リーダーB (指導教諭)	85	「指導教諭等の優れた指導力を生かすために(仮)」	教育センター 視聴覚室	1月29日(月) 15:40～17:00 (予定)	講師都合により、1月22日(月)より変 指導教諭等
教科領域 別研修	英語教育研修	130	「教育課程特例校公開授業」 授業者 藤白台小学校 教諭 長岡 花菜子 指導助言 関西大学外国語学部 教授 池田 真生子	藤白台小学校	1月26日(金) 14:30～17:00	小学校教職員
	英語教育研修	134	「指導者英語カススキルアップ(B日程・基礎編)」 講師 オオサカイングリッシュビレッジ ネイティブインストラクター ※1月18日(木)「指導者英語カススキルアップ(B日程・応用編)」研修と2回連続受講が原則	オオサカ イングリッシュ ビレッジ	1月11日(木) 15:30～17:00	小学校教職員
	英語教育研修	135	「指導者英語カススキルアップ(B日程・応用編)」 講師 オオサカイングリッシュビレッジ ネイティブインストラクター ※1月11日(木)「指導者英語カススキルアップ(B日程・基礎編)」研修と2回連続受講が原則	オオサカ イングリッシュ ビレッジ	1月18日(木) 15:30～17:00	小学校教職員
教特育別 研支修 援	特別支援教育	219	発達障がい理解と実践④ 「自立に向けて考えておくこと」 巡回コーディネーター 竹見台中学校 教諭 山口 ひろみ	教育センター 視聴覚室	12月14日(木) 15:45～17:00	教職員
幼稚園・小学校教育 研修		99	特別な支援を要する子供と保護者への支援のあり方 千里金蘭大学 准教授 斎藤 富由起	千里市民セン ター 大ホール	12月15日(金) 15:30～17:00	小学校教職員 市内公私立幼稚園教諭 公私立保育園保育士 ※ステップアップ研修Ⅱ選択研修を 兼ねる
情報 研修 教育	授業活用	317	ICT機器を活用した公開授業① 授業者 佐井寺中学校 教諭 南迫 勝彦 指導助言 大和大学 講師 松本 宗久	佐井寺中学校	12月14日(木) 14:25～17:00	教職員 ※情報教育推進委員会を兼ねる

※各講座の詳細は、各学校に送付する実施要項をご覧ください。

12月・1月のさつきらーむ(初任者教員等相談室)は、
12/12(火)、14(木)、1/9(火)、11(木)です。
申込は、教育センターまで(校務なびSA@メッセージまたは研修申し込みシステムにて)

【センター所長のつぶやき日記⑧】 ご無沙汰しております。。昨年度、この『つぶやき日記』を書き始めて更に関心が増したことは、世の中にある“つぶやき”です。情報ソースは、書籍であったり、街角のポスターであったり、対話であったりします。ある映画の登場人物は「人を笑わすことと人に笑われることは違う」とつぶやきました。どちらも笑いを生み出す側と笑う側の関係は同じですが、能動的に笑いを作るのが受動的に笑いの対象となるのは大違いで、子ども同士で生じる”いじめ”のプロセスに通ずるのかなと思いました。また、ある推理小説には「日本人は緊急事態に陥れば陥るほど頭が回転しない」とありました。日本人に限定しないまでも、危機的な状況になればなるほど判断に迷い、後手に回り、その結果、取り返しがつかない状況に陥るといことは、確かにあります。だからこそ、いざという時に真に役立つ『マニュアル』が必要なのでしょう。「大江さん、無知であるということは悲劇だね・・・」何かの機会にある先輩教員と交わした言葉です。知識や経験が身を助け、知らないことが不利益を招く。最後に「情緒を感じる感受性は物体の速度によって大幅に変わる」という“つぶやき”を紹介して終わります。みなさま、よいお年をお迎えください・・・

センターだより第7号（12月8日発行） 追加のお知らせ

＜裏面 12月・1月の教職員研修予定について＞

1. 【講座番号 85】 スクールリーダーB（指導教諭）研修については、講師の都合により、1月22日（月）から1月29日（月）に変更となります。
2. 【講座番号 142】 授業づくり研修（国語）および【講座番号 115】 教育課題別研修については実施済みとなっております。ご了承ください。